

大塚人

2003-37

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目1番2号
同窓会事務局 / TEL・FAX 092-714-1681
発行人 安藤文六
編集人 平島文憲
<印刷> 福博総合印刷株式会社

同窓会発足50周年記念

充実した同窓会を 50周年を記念して



大濠高等学校 同窓会会長

安藤 文六

同窓会の皆さんお元気でしょうか。同窓会も今年は、五十周年の節目の年を迎えます。五十周年を記念して本年の総会は、五十周年記念総会としました。五十周年記念総会にふさわしく、記念講演を企画致しました。この五十周年記念総会を成功裡に終わらせるためには、七百名を目標に参加者を集めたいと思っております。七百名の目標のために会員一人ひとりが力を出し合い、盛り上げていただきたいと思っております。そしてこの五十周年を新たな、百年に向けての門出といたしましょう。

次の百年に向けては、母校も大きな課題があります。社会は、急速な高齢化・少子化社会へと変化しております。このような社会になると、生徒数も減少してきます。同窓会もこのような現象に対して、学校とともに対応していきたいと考えます。そのためには、同窓会の充実が、より重要になってまいります。

最近、考えさせられることのひとつに、同窓生も増えて組織が大きくなっ

てきているが、組織が合理的に機能していないのではないかとということがあげられます。卒業回ごと、クラスごとに幹事をもちかかっています。皆さんは、仕事が多忙のため、理事会への参加が少なくなっているように思います。そこで幹事の層を厚くするために、クラスから複数の幹事を出してもいいのではないかと思います。クラス幹事の引受手が少ないのが現実だと思えますが、時間にゆとりのある方は、ぜひお願い致します。また、活動に対する会員の参加が少ないのも一つの特徴だと感じます。会員相互の親睦や交流を図るためにも行事に対する参加は、欠かせないものです。行事への参加を通して、深い人脈や豊かな情報が得られます。同窓会でもインターネットによる情報の提供を行っています。同窓会の行事に対するお知らせ、あるいは会員の消息を知るための情報、いろんな面で、パソコンを利

平成15年大学入試状況 東大四名 京大二名 九大医学部は二年連続

平成八年に開校になった中高一貫コースが卒業生を送り出して二回目にあたる今春の入試は、昨年に続いて、大濠高校の進学の実績に新たなページを加えた。昨年東大二名、京大四名の現役合格者を出したが、今年は東大に現役二名、浪人二名の計四名、京大二名は現役、九大医学部にも二年連続で現役合格者を出した。国公立大学の合格者は約百名。(この数字は九州の私立ではトップクラス)前出以外では、九大十八名、大阪大三名、東北大二名、横浜国立大三名、広島大五名、山口大六名、長崎大七名、熊本大五名、鹿児島大六名、佐賀大七名など。私大も含めた医歯薬系では、熊大医学部、長崎大医学部、防衛医大、自治医大、福岡大学医学部五名、東京医科歯科大、九州歯科大、九大薬学部、福岡大薬学部十三名など約四十名。

私立大学では早稲田大の四十名、慶應義塾大学の二十名はいずれも過去最高の合格者数である。また近年合格者を多く出している関西系の関西

用していただきたいと思えます。

同窓会として、力を入れている事業に「特別会員」制度があります。この特別会員制とは、一口一万円を単位として、入会していただき、拠出していただいた会費を母校の文化部・運動部の生徒に対して援助しようという趣旨のものです。生徒には、心おきなく学校生活・クラブ活動に力をそそいでもらおうというものです。この「特別会員」制度の趣旨を会員に伝えますと、ぜひ入会しようという賛同していただける会員がたくさんおられます。ただ一つ改善しなければいけない点があります。それは、会費を振込みに行く時間に皆さん追われていることです。この点をどのように改善すればよいのか。会員の皆さまの知恵をぜひお貸し下さい。そして、ともに充実した同窓会を目指したいと思えます。五月の記念同窓会総会には皆さんお誘いあつてご参加下さい。

関学・同志社・立命の四大学にも百二十名とこちらも堅調であった。防衛大学は二次合格者が初めて百名を超え、二次合格者三十一名は昨年に続いて日本一の合格者数と思われる。また難関の気象大学校にも合格者を出した。

全体的に見ると、昔に比べ、福岡大学、西南学院大学の合格者数福大三百五十七名、西南六十名)が激減しているが、前記の他大学の合格者数をみると、それも頷ける。また九州大学にしても全国区に名乗りをあげた大濠にとっては、その合格者数が進学のパロメーターとは言い難くなっている。

学園創立五十周年を経て、様々な教育改革が推進され、新たな産みの苦しみを味わった我が母校であるが、ここに来てその成果が「一気に花を咲かせよう」としている。同窓会創立五十周年にあたり、我々も母校のますますの発展を祈り、その動向に注目してゆきたい。

なお、この記事は国公立前期日程の合格発表時点での数字をもとに書いたものなので、後期合格者数を含んでおりません。更に合格者数を上乗せした数字を、五十周年記念の同窓会総会で御報告できるものと思えます。

祝・五十周年 第七代校長に就任して



福岡大学附属大濠中・高等学校校長
家宇治 輝太郎

福岡大学附属大濠中・高等学校校長に平成十五年四月一日に就任いたしました。大濠高等学校同窓会の会員の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。又、本年は大濠高校同窓会創立五十周年の記念すべき年です。心よりお祝い申し上げます。昭和23年に福岡外事専門学校(現福岡大学)の附属として、大濠中学校が認可され、その3年後には、初代校長井口末吉先生のもと、質実剛健「文武両道」「道徳教育」が学校方針として、大濠高等学校が産声をあげました。敗戦後まもない混乱した社会情勢の中、創設の意に燃えた我々の先輩は、文字通り血と汗を流して、学園の基礎づくりに邁進されました。

卒業生の皆様のご苦労も並大抵ではなかったと推察致します。爾来、国内外の大きな変動の中で、本校は福岡で、有名男子進学校としての地位を確かなものとし、運動クラブも全国的に活躍し、今日に至っております。同窓会創立五十周年の節目に当たって、大濠高校も更に発展飛躍しなければなりません。昨年、中高一貫の一期生が大濠高校を卒業しましたが、東大、京大、九大、東北大、早稲田慶応と多方面の大学にそれぞれ進学しました。

附属大濠中学校の世間の評価は高く、将来が楽しみになっております。しかし、公立の中高一貫校が平成16年度より福岡県でも開校され、西南中・高校も新校舎に移転する等、公立私立の教育改革も急ピッチで進んでいます。少子化が進む厳しい状況の中、福岡県の教育界でも公立私立問わず、激しい競争、淘汰の時代に入っています。子供達の「生きる力」を「考える力」は、基本知識なくして身に付くものではありません。本校は、過去の栄光に甘えることなく必要な改革を進めていく所存です。私も教職員が今一度建学の精神を踏まえて、研鑽を重ね、本学園を更に向上させることが同窓会の会員の皆様への感謝の表しかたではないかと考えます。国際的にも活躍できる人材を引き続き育成できるよう努力致します。最後に、同窓会の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、私の就任の挨拶と致します。

福岡の連覇に貢献

駅伝部 石橋洋三(新3年)



都道府県別対抗駅伝での活躍
駅伝部の石橋洋三君(新3年)が1月19日、広島で行なわれた全国都道府県駅伝競走大会に第五区で出場、十秒差の二位からトップをとらえ四十秒の差をつけ、福岡県の連覇に大きく貢献した。その快走は新聞などでも大きく報道され、大濠の駅伝部を全国に知らしめた。同じチームの六区の中学生の大濠高校入学も決まっております。

おり、今年度の駅伝部は大変楽しみであります。また後日、メンバーは西日本スポーツ賞を受賞しました。

テニス部 選抜大会出場

テニス部 渡辺・吉木両顧問と9名のメンバー



昨夏インターハイ出場
バスケット
バレー
剣道・全国三位
柔道(個人)

今春選抜出場
バスケット
(ウインターカップ)
硬式テニス

硬式テニス部が選抜大会に三年ぶり三回目の出場を果たした。福岡県からは柳川・九州大附属ととも三チームで出場。大会は三月の二十一日から北九州プリンスホテルで団体戦が争われる。団体戦は九名の選手登録で、ダブルス二試合、シングルス三試合の五ポイントでのトーナメントである。この大濠人が出る頃には既に大会は終了しているが、最強のチーム柳川が引く張る県勢の一画としてなんと上位進出を期待したいものだ。

昨夏県大会ベスト8・秋季市長杯優勝

硬式野球部が古豪復活へ向けて確かな成績をあげている。昨春市長杯の決勝を東福岡と争った本校硬式野球部は、その試合延長の末惜しくも敗れたものの、夏の大会のシード権を勝ち取った。それでも、ここ数年の実績から他のシード校への注目度が高く、本校のバートは最激戦バートといわれたが、他の有力シード校が次々と姿を消すなか、本校はバートを勝ち進み、県大会へ駒をすすめた。県大会で一勝をあげる頃には古豪復活、久し振りの甲子園の音が聞こえ始めたが、ベスト8であと一歩及ばなかった。しかし、久し振りの県大会で、北九州市民球場を大濠の応援団が席巻した。

古豪復活へ確かな手応え

硬式野球部



力強い4番前畑のバットイング

夏休み後半から始まる秋季市長杯においては、九州・福岡第一・東海第五と強豪校を次々と破り、決勝でも福工大城東を五対三と退け、一九九七年春以来十一季五年)振り十五回目(博多工業につ

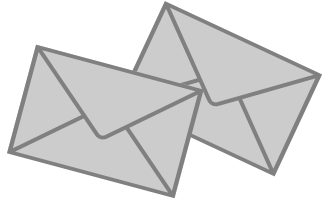
いて二番目の優勝回数)の優勝を遂げた。秋の九州大会予選では五回戦(準々決勝)まで勝ち進んだが、沖学園に思わぬ苦杯をなめることになる。準決勝で柳川と計算ができる大会だっただけに、その敗戦は悔やまれた。年が明け、三月練習試合解禁より、既に多くの試合を積んでいるが、連戦連勝を続けている。三月二十四日が九州大会予選の一回戦になるが、この大濠人が出る頃には九州大会出場を決めていることが大いに期待できる。その後の市長杯の連覇もかかっており、いよいよ夏に向けて目が離せない。この夏県下で最も注目されるチームであることは間違いなく、その期待に応えるべく選手一人ひとりの精神面も成長している。周囲の期待にこぼされることなく、またおごりたかぶることなく、集中して一試合一試合に臨んで欲しいものだ。

同窓会創立五十周年の記念の年にあたり、安藤会長をはじめ同窓会一丸となつてのバックアップ体勢も整いつつある。再び甲子園球場で校歌を斉唱する日を夢見て、応援したい。



勝利の校歌

支部だより (各支部からの報告)



関東支部
関西支部
小中学校教師の会

鶴友会
東海支部

つつじ会
粕屋支部

関東支部



お江戸の便り 関東支部 事務局長
田中隆弘(十九回卒)

関東支部設立二十周年記念総会は、平成一四年一〇月一九日の土曜日に関東四都県在住の同窓生三九名と、母校より青木重夫校長・本部から村上正人元会長・郡田紀久雄副会長・いつもお世話になっている事務の大内田美幸さん、関西支部の後藤一夫新支部長、東海支部の庄子文郎事務局長、元関東支部長で現在京都在住の保坂恭雄さんなど、来賓九名を合わせて四八名の参加で、市ヶ谷の私学会館・鳳凰の間で盛大に挙行されました。

二〇周年ということで、総会では本部事務の大内田さん・高本文博会計幹事に感謝状と記念品代・金一封の贈呈など有り、後はお楽しみ憩親会に突入。恒例の大ジャンケン大会や洩れなく当たる福引き、そして今年の余興は荻井かほり嬢のマジックショーと催し物が盛り沢山で大賑わいでした。

今年は、上野一哉君(一九回生)の尽力で自衛隊・防衛庁在職の同窓生多数に参加して貰い盛会となりましたが、今後も職域や卒業年度など何らかの共通項で連絡を取り合い、同窓生の輪(和)を広げたいものです。

総会後も、毎月第三土曜日の例会以外にも、二月一四日には忘年会、一月の五・六・七日は母校バスケット部、一七・一八日にはプラスバンド部の応援に向き、二月八日には新年会を開催しました。総会以外にも毎月色々な催し物をやっていますので、参加希望者は事務局までご連絡下さい。

今後の予定

- 三月 花見の会(私学会館の前の土手)
- 四月 例会
- 五月 釣りと新鮮な魚を食す会
- 六月 湯河原温泉一泊の旅
- 七月 七夕の会
- 八月 暑気払いの会

関東支部のみなさん



連絡先・事務局
郵便番号 一六七 〇〇五三
東京都杉並区西荻南三 八二二
有限会社 グリーンアップル内
大濠高等学校同窓会関東支部事務局
事務局長 田中隆弘
電話 (〇三三) 三二四七 三〇一一
携帯 〇九〇 三五三五 六六〇六

東海支部



東海支部は、今年で創設9年目を迎えております。現在の会員数は、120名。今年の11月16日(土)には、第8回総会を開催いたしました。会員19名が参加また来賓として母校からは相良先生、同窓会本部からは、郡田副会長、関東支部からは伊堂寺副支部長、関西支部からは後藤支部長、中京東人会より山崎会長にご出席いただきました。総会は江崎東海支部長の挨拶に始まり、業務報告、会計報告など定番どおり和気あいあいの中厳粛に取り行われました。その後

東海支部のみなさん



は、お待ちかねの懇親会。相良先生、郡田副会長からは、母校の発展ぶり、OBの活躍ぶりなどのお話を頂き、会員一同目を輝かせて聞き入っていました。また、伊堂寺副支部長、後藤支部長から各支部活動の報告を受けました。報告の中でも特に支部活性化に当り会員獲得の為の苦労話には、同じ悩みを持つている支部としても共感の思いでした。貴重な意見を今後の活動に役立てようと感じました。会員、来賓の皆様方にカンパして頂いた豪華景品が当たる抽選会では、当選者が出る度に歓声が上がって大盛況でした。最後はお決まりの校歌斉唱。全員が一丸となり、力いっぱい歌う姿は、まさに感動ものでした。二次会は、会員御用達のQ、スナック(プチ華)で……。宴は、深夜まで、延々と続きました。大濠の仲間が集って元気を分かち合った一夜は、大変有意義なものでした。

関西支部



第22回の関西支部総会は7月27日(土)大阪弥生会館にて、来賓に青木校長、本日より村上顧問、本村副会長、関東支部桑原幹事長、東海支部江崎支部長、有信会大阪支部石田支部長をお迎えし、盛大に開催されました。一部総会では会務報告、会計報告に続き行事計画案が原案通り可決されました。役員改選では永年に渡り、支部長を務められた重本氏(7回卒)が勇退。新支部長として指名を受けた後藤氏(9回卒)が満場一致で承認されました。混迷を深める現代社会に大濠健児として質実剛健の旗の下、共に語らい、明るく、力強く今日を生き抜こうと新支部長の力強い挨拶のあと、二部の懇親会に移りました。青木校長、村上顧問の挨拶に続き、本村副会長の乾杯の音頭で宴会となりました。ビンゴゲーム、校歌斉唱の後福岡より毎年参加されている元副支部長猪山氏(3回卒)の力強い万歳三唱でお開きとなり、2次会は北新地で自慢の、のどの競演が繰り広げられ、夜の更けるのを忘れた一日となりました。

関西支部のみなさん



忘年会

ビアパーティ▶



平成14年度 行事計画

- 2002年(平成14年)
 8月24日(土)ピア・パーティー
 【阪神デパート屋上】
 10月4日(金)金曜サロン【ホテル コンソルト】
 11月23日(土)紅葉狩【箕面市・箕面公園】
 家族同伴
 12月7日(土)忘年会
- 2003年(平成15年)
 2月1日(土)新年会
 4月5日(土)花見宴会【西宮市・夙川公園】
 市村会共催
 6月6日(金)金曜サロン【ホテル コンソルト】
 7月26日(土)第23回総会開催
 【大阪弥生会館予定】

平成14年度 関西支部役員

役職名	氏名	卒業年度
顧問	藤野 誠	29年卒
"	重本 弘敏	35 "
参与	裨田 龍馬	32 "
支部長	後藤 一夫	37 "
副支部長	小嶋 久夫	38 "
幹事長	西村 政彦	45 "
副幹事長	角田 仁	41 "
兼会計副幹事長	結城 和治	46 "
幹事	吉田 文昭	38 "
"	塚本 達三	35 "
"	遠藤 清一郎	49 "
"	宇佐美 毅	55 "
事務局	舛永 広志	41 "
会計監査	桑野 辰彦	32 "

鶴友会



鶴友会は同窓会の福岡市役所支部であります。大濠出身の現役の市役所職員140名と、顧問の大濠出身の4名の市会議員で構成し、毎年秋に総会を開き会員相互の親睦を図っています。母校大濠とは、地元であることから福岡市政を通じて色々な面で関わりを持っている、一番身近な存在の同窓会であります。

昨年の総会は10月4日(金)、天神の中華料理店で開催。顧問である4名の市議会議員と60名の会員が集まりました。来賓に青木校長をはじめ学校関係者の方々、同窓会からは山下副会長をはじめ多数の方々を迎えております。特に大変お忙しい中、山崎福岡市長を迎え、市政に貢献している我々会員に対してねぎらいの言葉を頂くなど、2時間ほどの短い間でしたが有意義な同窓会を催すことが出来ました。

20世紀末頃から大濠のステータスが大きい上がっており、それと共に鶴友会のステータスも向上しています。鶴友会では昨年4月の人事移動で待望の局長級の会員が誕生し、同窓会への感心も一段と高まったような気がいたします。これも、大濠が県



内有数の文武両道の進学校に発展し、優秀な生徒を社会に送り出されてこられた先生方の長年の努力の賜と深く感謝する次第です。同窓会は

会員親睦団体と共に情報ネットワークと常々言っておりますが、今は、ネットワークへの参加に当たると総会への出席率の向上を図り、より一層、有益なネットワーク(同窓会)となるよう幹事一同努力していきたいと思っております。最後に母校と、同窓会の発展を祈念して鶴友会の近況報告とします。

大濠同窓会 福岡市役所支部
 鶴友会 会長 林 正治

つじい会



平成14年9月28日(土)久留米つじい会総会が、久留米グリーンホテルで18時30分より行なわれました。例年9月に久留米の同ホテルで開催されています。総会では事業報告・会計報告および事業計画案、予算案等が話し合われました。

第二部の懇親会では、青木校長先生のあいさつがあり、学校の状況等お話をしました。進学の状況や運動部の活躍など、話していただきました。懇親会では、お互いの活躍を確認したり、友達の情報交換しあいました。つじい会で恒例になっているジャンケンゲームで盛り上がり、おみやげもいただきました。久留米つじい会は、久留米市、小郡市、佐賀県三養基郡にお住いの方が参加しています。たくさんのご参加をお待ちしています。

幹事長 豊福光明



粕屋支部のみなさん



粕屋支部
第一回ゴルフコンペ
平成14年11月23日

平成14年度 報告

平成14年度 総会 11月23日
会計報告
役員選任
支部会長 太田健策
副会長 赤澤好徳
事務局長 竹森正和
粕屋支部第一回ゴルフコンペ開催
場所:久山カントリー
日時:11月23日
優勝:久山支部 伴 義則

粕屋支部



つつじ会のみなさん



校歌斉唱

新支部誕生

小・中学校教師の会発足



小中学校教師の会の結成式が、平成14年8月24日(土)に福岡国際ホールで午後六時より行われました。

大濠高校卒業生で、小学校・中学校の教師になっている方の支部を発足させようという希望が、以前から出ていましたが、それが実現し今回結成式のはじりとなったものです。

結成式には、同窓会から安藤会長はじめ、17名の役員、母校からは青木校長先生はじめ、10数名の先生が参加されました。

小学校・中学校の教師になつてゐる卒業生は、現在判つてゐるだけで、123名おられます。

安藤同窓会長からは、教師の会が母校と充分に連絡をとり、ますます発展されることを期待します」といふあいさつがありました。

会場では、母校の先生方と卒業生教師とが情報の交換をして交流を深めることができました。なお、当日、欠席された方の欠席コメントを紹介いたします。

・当日、吹奏楽サークルの合宿があつて参加できません。母校のために何か出来ればと常々考えております。宜しく願ひします。

・中国で国際交流ボランティア活動として授業をしてるので参加できません。母校のOBに教師が多くなることを心強く思います。共に頑張りましょう。



書道部OB会の集い

昭和三十八年三月に発足した書道部OBの会、井水会が平成十四年九月四日、福岡ガーデンパレスに於て、一回卒業生から十九回卒業生まで二十名が出席、胸襟を開いて昔日を追憶した。

井水会の由来は、井は、初代校長井口末吉先生の一字、水は、白水廣書道教諭の一字を戴いて「精粹」と兼合せて名付けられたものであり、その当時から卒業生何人かが放課後の部室に訪ね、練成中の生徒にお手伝い傍ら、書道の研鑽に励み、白水先生設立の古光書道展を重点に出品し、また中央展および地元泉・市展に入選入賞等の記録を残し、昨今に至つては現役有志のみが創作書活動を続け、一方では親睦として二年に一度程度、懇親会を開き、ありし日の詰り襟時代を懐かしんでいる元氣なOB会である。

今回は、高校同窓会も五十周年を迎えるに際し、記念すべき機会に併せて、古光書道会第三十回記念に書作展出品とその祝賀会に顔合せをした。

式典は、柴田博康氏(一回生・前母校教諭)の代表挨拶に始まり、続いて、来賓挨拶、祝電披露など、式次第は進み、上山真輝氏(九回生・市立福岡高校長)の乾杯の音頭で、祝宴が始まった。岡稔氏(二回生・桑樹書道会代表)の司会進行に伴つて、永い年月の空白を埋める、卒業以来の顔合せもあつてか、俺が、お前が、「どげんしとつたやー!」などの談笑、酌み交す杯も和氣あいあい。祝賀の宴も盛り上り、最後は大野憲俊氏(十回生・大同青果社長)の、博多手一本締によつて盛會裡の内に終了した。

今年、恩師白水先生の逝去二十三回に当り、春には更に盛大なOB井水会を開催する予定であり、また第五十周年記念同窓

同窓会のホームページが更新され、より内容が充実。ぜひご覧下さい。

<http://www.ohsa.jp>

井水会 市立美術館作品展示室



井水会

会総会には多数出席を要請し、総会を祝う一端を担つつもりである。
『古光書道会』とは、故・白水廣先生が昭和二十八年、市内の私立高校教員の研究団体として設立された会であり、卒業生が毎回この会に出品していることもあつて、回数数えること三十回となり、今回この記念祝賀会に併せて、出席総勢約一〇〇人の内、OB会二十名の参加をみた。現在代表者として柴田博康氏(一回生)が、師の遺志を今日引継いでいる。
(一回卒業生・井水会長 村上正人)

特別会員交流会開催

特別会員の交流会が、平成14年11月9日(土)に福岡国際ホールで18時から開かれました。特別会員制とは、一口二万円を拠出して母校の文化部・運動部の学生を支援しようというものです。現在、約300名の有志に加入いただいています。

特別会員交流会は年に一度開催されていますが、安藤会長からも、もう少し会員数を増し、学生への支援を充実したいとの話がありました。



今年の特別会員交流会では、本学卒業生で、元福大医学部支部長であった高木医師から、脳こうそく等の病気について、お話を聞きました。脳や心臓の病気は、日常生活に大きなダメージを受けるとあって、参加者は皆真剣に耳を傾けていました。また、議員紹介等もあり、今後の活躍に期待がよせられました。そのあと、三人の女性による室内管弦楽団の演奏があり、みんなで楽しみました。

特別会員に多くさんの方が、参加されるようお願いいたします。

同窓生紹介

四月、新年度ということでも、母校大濠高校も新入生を数多く迎えます。同じ母校を巣立った卒業生も数多く、社会の色々な分野で活躍しており、頼もしい限りです。我々同窓生としては母校の発展を願わずにはおられないのですが、

今回は母校のためにも、教育行政に深くかかわるであろう同窓生諸兄を紹介したいと思います。久しぶりに同期生の活躍を知ることになると思います。今回登場していただいた方で、知っている人がいれば、電話等で連絡をとり、お互いの交流を深めていただければと思います。今回登場していただいた方は、どなたも積極的に人生を拓いておられます。情熱的に頑張っている姿が、言葉の一つひとつが心に伝わってきます。紹介は、卒業年次順にいたします。

前 卒業生
名 職
略 歴
写 真
生活信条
趣味
抱負
連絡先



中原 貢
高校 第8回生
福岡市議会議員(東区)

福岡市監査委員 福岡市市場開設運営協議会会長 福岡市スポーツ振興協議会会長 都市交通対策特別委員会副会長 第3常任委員会委員長 第4常任委員会正副委員長 福岡市農業委員 福岡市建築審査委員 中小企業振興審査委員会 大衆のなかへ庶民とともに
散歩 映画鑑賞 旅行
いつも力強いご支援、誠にありがとうございます。5期目に挑戦ですが、今回はいつになく厳しい選挙となりました。同窓会の皆様のご支援を伏してお願い申し上げます。希望あふれ 活力ある都市 福岡 をめざし、培ってきた知識と経験を生かし頑張る決意であります。
〒813-0002
福岡市東区下原2-34-8
TEL:092-662-1245 FAX:092-662-1249



鬼塚 敏満
高校 第8回生
福岡市議会議員(博多区)

昭和18年3月17日生まれ、59歳。昭和36年大濠高校卒業。平成7年福岡市議会議員初当選。平成11年福岡市議会議員2期目。
H11.6.1~H13.3.31福岡地区水道企業団議会議員。H13.4.1~同議会・代表監査委員。
親の後ろ姿を見て、子は育つ
ハイキング・ドライブ・映画鑑賞
皆様のおかげで、2期8年を努めさせて頂きました。これからも、初心を忘れずに、私のモットーであります。「行動派宣言」をスローガンに全力投球で、ガンバります。皆様のご期待にそえるように市政に取り組んでまいりますのでご支援ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。
〒812-0002
福岡市博多区空港前4-1-13
TEL:092-621-9489 FAX:092-629-9311



入江 真徳
高校 第8回生
九州近未来工学研究所代表
福岡県議会議員候補(中央区)

昭和16年11月、福岡市生まれ。福岡市立当仁小、中学校卒業。大濠高校卒業。福岡市議会議員秘書、参議院議員亀井光氏、衆議院議員簡牛凡夫氏に師事、政治の薫陶を受ける。産経新聞社年鑑局、ホテルニューオータニ勤務
民主党二区副代表
敬神と中庸
風雅な楽しみごとと、温泉めぐり
豊かさ、やすらぎ、潤いのある社会は私達の願いです。公正、公平、公明、公開の原則にたつて、21世紀の福岡県づくりに貢献したいと思う。多様で豊かな地域社会づくりをめざします。40年近くの政治研鑽を通じ、九州はひとつというスローガンのもと、九州連邦制をめざします。
〒810-0004
福岡市中央区渡辺通5-16-6-1009
TEL:092-761-1683



新村 まさひこ
高校 第18回生
福岡県議会議員(南区)

福岡市立花畑小・花畑中卒業
1977 山口大学経済学部卒業
1978～94 社会科教諭として三宅中・東光中・堂
仁中・長丘中で子ども達と歩む。
'99 福岡県議会議員当選(～現在)
まっすく、まっすく!
料理・脚本
県政・2期目に挑みます。住民の1人として、くら
しと平和をまもるためのとりくみを続けます。
「大濠の新村」は、元気です!
同窓会の皆さまのご支援をお願いします。
〒811-1353
福岡市南区柏原6-19-12 新村まさひこ事務所
TEL:092-566-8980 FAX:092-566-8980
Eメール: <http://www.kaerukaeru.com>



井上 澄和
高校 第17回生
春日市長

昭和26年4月10日、春日市生まれ。春日中、大濠
高校、西南学院大学経済学部卒業。昭和62年、福
岡県議会議員初当選(3期)の間、厚生常任委員
長等を歴任。平成11年、春日市長に初当選。現在、
春日・大野城市・那珂川消防組合組合長、筑紫地
区市町会会長。
先憂後楽
読書、野球
市民との対話の中から市民の心をくみとる...「市
民が、まんなか。」の政治姿勢をモットーに、市民
の生活実感から生まれる発想を生かし、市民参加
と協働のまちづくりを進めていきたい。市民が日々
の生活や諸活動で輝き、ふれあいを通して安らぎ
を感じることのできる都市をめざして。
〒816-0861
春日市岡本2-76
TEL:092-581-6553 FAX:092-581-2233



横尾 秋洋
高校 第11回生
筑紫野市議会議員

昭和19年7月、筑紫野市にて出生。58歳。大濠高
校より福岡大学商学部へ進み、昭和44年3月卒業。
4月ダイエー入社。店舗開発部長を最後に平成10
年12月退社。翌11年4月の地方統一選挙に立候補
し、初当選。原田剣心会会長・市制連副会長
人と人とのふれあいを大切に
スポーツ・読書
“故郷・筑紫野の地で生まれ、育ち、学び、家庭を築き、
そして快適に余生を過ごす”このことのできる地
域社会の実現に向け、邁進しています。社会人と
しての30年間の経験を市政に反映しこの厳しい
経済環境の下で、財政と市民ニーズとの調和のと
れた街づくりを目指します。
〒818-0024
筑紫野市原田7-11-1
TEL 自宅:092-926-2945 事務所:092-919-7726
FAX 自宅:092-926-2947 事務所:092-919-7728



山口 剛司
高校 第24回生
福岡市議会議員候補(東区)

昭和33年7月1日福岡市生まれ。44歳。粕屋町立仲
原小学校、粕屋中学校を経て、大濠高校卒業。創価大
学経営学部卒業後、株式会社岩田屋入社。平成9年
史上最年少で外商部第4法人部長就任。平成14年
12月退社。現在、公明党東区委員。
負けじ魂、ネバーギブアップ!
旅行・読書・スポーツ観戦
44歳という若さとバイタリティを武器に、庶民の声
を政治に届けて参ります。岩田屋時代は、営業の第
一線で、お客様の声をカタチにすることに真剣に取り
組んで参りました。今度は政治の舞台でその経験
を生かして参ります。まじめに働く人たちが報われ
る社会の建設のために全力で闘ってまいります。
〒812-0064
福岡市東区松田3-26-20三菱シティライフ箱崎8-104
TEL:092-611-6533 FAX:092-611-6533
Eメール: info@t-yamaguchi.org



新開 昌彦
高校 第23回生
福岡県議会議員(早良区)

昭和32年6月12日45歳。西新小学校、百道中学
校を経て昭和51年大濠高校を卒業。創価大学経
営学部を卒業後、(株)津田産業入社、昭和58年神
崎武法衆議院議員の秘書を15年勤め、平成11年4
月福岡県議選に早良区から出馬、初当選。
労苦と使命の中にのみ人生の価値は生まれる。
ウォーキング、ゴルフ、読書
1期4年間、ブックスタート運動や県立総合射撃
場の環境対策をはじめ教育、環境、福祉、交通問題
に取り組んで参りました。
チャップリンは、「今までの作品で一番は何」と聞
かれたとき「NEXT ONE(次の作品)」と答えました。
私も常に一歩先を目指して頑張ります。
〒814-0004 福岡市早良区曙2-1-35
TEL:092-852-1875 FAX:020-4622-1245(D-NET)
Eメール: shinkai_masahiko@hotmail.com
ホームページ: <http://www.shinkaimasahiko.com>



佐々木とおる
高校 第23回生
会社取締役社長
福岡県議会議員候補(東区)

昭和33年東区に生まれる。馬出小、福岡中を経て
昭和51年大濠高校卒業。福岡大学商学部卒業後
アメリカイリノイ州立大学院留学。昭和59年西
鉄旅行(株)入社。平成3年独立し会社を設立。
明るく、誠実に。
スポーツ観戦 相撲、ラグビー)
父親として子どもたちを守る立場になった時、今
まで見えなかったモノが見えてきました。
次の時代を担う子どもたちや若者に安心してパト
ンタッチできる福岡を目指して、私は政治の場から、
まっさらな心で地域と向かい合い、一つ一つ問題
に取り組んでいこうと決意しました。
〒813-0042
福岡市東区舞松原2-1-4草場ハイツ
TEL:092-674-2020 FAX:092-674-2022
Eメール: tooru@sasaki-tooru.com



武末 哲治
高校 第36回生
春日市議会議員

昭和45年8月21日生まれ。32歳。春日小、春日中
を経て平成元年大濠高校卒業。平成3年JA筑紫入組。
平成11年春日市議会議員初当選。総務常任委員
会副委員長、春日市社会福祉協議会評議員。
一生懸命
家族旅行、野球、詩吟、ゴルフ
平成11年、大濠高校同窓会の皆様のおかげで、春
日市議会史上最年少28歳の若さで初当選させて
いただき心から感謝申し上げます。大濠魂を誇り
に思い、公正・公平・公開の市政改革に挑戦し、新
時代に相応しい「新生春日市」の実現に向けて努
めてまいります。
〒816-0851
春日市昇町5-96
TEL:092-502-2365 FAX:092-502-2462
Eメール: takesuet@jasmine.ocn.ne.jp



吉松 源昭
高校 第34回生
福岡県議会議員候補(粕屋郡区)
行政書士

昭和43年5月2日糟屋郡須恵町生まれ。34歳。
昭和62年 大濠高校卒業。
平成 4年 行政書士事務所を設立。
平成 8年 渡辺ともよし衆議院議員秘書。
平成14年 水戸さかき福岡県議会議員秘書。
千里の道も一歩から。継続は力なり。
読書、映画鑑賞
「経済、環境、福祉」、私達県民にとって避けては通
れない重大な課題が山積しています。粕屋郡区か
ら自民党公認で福岡県議会議員選挙に初挑戦し
ます。母校大濠高校の名誉と誇りにかけて一生懸
命に取り組んでまいる所存です。ご支援ご指導の
程よろしくお願い申し上げます。
〒811-2113
粕屋郡須恵町大字須恵712-1
TEL:092-931-1622 FAX:092-931-1633
Eメール: motoaki@e-kasuya.com



川口 浩
高校 第26回生
福岡市議会議員(博多区)

昭和35年10月3日生まれ。昭和54年大濠高校卒業。
昭和58年福岡大学商学部卒業。昭和63年福岡市
議会議員初当選(現在4期目)。平成7年第5委
員長、平成11年第2委委員長。現在自民党福岡市
議団幹事長、都市問題等調査特別委員会副委員長。
和、敬天愛人
野球、ゴルフ、ドライブ、読書
スピードある行財政改革の推進、21世紀のテ
ーマである環境の保全、国の柱である教育の見直し、
地域での助け合いが重要性を増す福祉の充実、福
岡都市圏一体となって進める広域行政の推進、5
つの柱を立て、市政の改新をめざして、大濠人の
名にはじめよう全力で取り組んで参ります。がんば
ります。
〒816-0093
福岡市博多区那珂3-12-15
TEL:092-431-3773 FAX:092-411-3417

特別会員年会費・同窓会年会費

同窓会の大いなる発展のために、
よろしくご協力ください。

同窓会年会費 1,000円
特別会員年会費 10,000円(1口)

納入方法 振替用紙(指定)を用いて
最寄りの郵便局でお払込み下さい。

副会長 郡田紀久雄(財政委員長)

その他、次の方々も議員として活躍されています

太宰府市議	福広 和美	15回卒
宇美町議	諸永 宗義	3回卒
久山町議	鮎川 正義	5回卒
新宮町・副議長	長崎 武利	7回卒
新宮町議	横大路政之	17回卒

◆◆ 50周年記念総会のご案内 ◆◆

今年、同窓会50周年という記念の年に当たります。

大濠中学校の第1回入学式が、昭和23年4月でした。それから3年後、昭和26年4月が、大濠高校第1回生の入学になります。そして、昭和29年3月に高校第1回生が卒業しました。それから、数えて本年は、50周年ということになります。

この50年という節目を記念して、例年行っております総会を、今年、50周年記念総会としました。総会では、50周年記念にふさわしい講演会を企画しました。

ぜひ友達誘い合って50周年記念総会へご参加下さい。

前売券は各回幹事が販売中(当日受付) 担当理事 副会長 大野 治憲(13回生)

日 時 平成15年5月17日(土)

PM4:30開場～5:00総会

PM5:30記念講演会

PM7:00懇親パーティー

会 場 ホテルニューオータニ博多3階

福岡市中央区渡辺通1-1-2 TEL092-714-1111

会 費 7,000円

記念講演会 講師 神田紅氏(講談師)

在校生吹奏楽部による演奏



{ 神田紅さん
プロフィール }

福岡県生まれ。早稲田大学中退。文学座研究所卒業。昭和54年 講釈師・神田山陽門下となり、神田紅を名乗る。昭和57年 その特異なキャラクターを活かした芝居講談を手掛ける。昭和63年「紅恋源氏物語(ダイワアート)」出版。平成元年 真打昇進・本牧亭にて昇進披露興行。舞台、映画、テレビ、ラジオ、ビデオ、新聞など、あらゆるメディアで女優・講釈師・レポーター・エッセイストとして活躍。

編集後記

同窓会諸兄！最近、母校が元気ですよ。昨春は東大二名、京大四名の現役合格者を出し、今春は東大四名、京大二名の合格者を出しました。二年間で六名の東大合格です。

硬式野球部は昨夏久々の県大会、ベスト8まで進み秋の市長杯では五年ぶりの優勝。さあ今年の夏は、同窓会五十周年に花を添えるためにも、ぜひ甲子園出場を決めて欲しいものです。まだまだ肌寒いですが、暑い夏が待ちどおしい今日この頃です。

この三月、勇退された第六代青木重夫校長先生、ご大任お疲れ様でした。母校のこの元気はひとえに先生のご尽力のおかげです。夏は一緒に甲子園に行きますよ。

変更通知は必ず 出してください!!

住所・氏名・勤務先等の変更について

現住所は、町名番地等変更の場合、すぐご連絡ください。

読みにくい氏名・地名にはフリガナをつけてください。

変更の箇所を朱書などでお示しください。整理上便利です。

【ホームページアドレス<http://www.ohsa.jp>】

同窓会へのご意見ご要望や同窓生の消息などの情報をお寄せ下さい。